

広告

いしかり産



石狩市では全221戸の農家が米の生産に励み、昨年は約6,000tの収穫量がありました。



平坦な土地が大部分を占める石狩市は水稲栽培に適した地域であり、厚田、浜益、美登位などでは「ななつぼし」「きらら397」「ほしのゆめ」といった米を作っています。中でも多く栽培されている「ななつぼし」は、ほどよい粘りと新米の香りがより楽しめると評判で、美登位・花畔・生振の農家ではJAいしかり安心米生産組合を結成し、そのお米はJAいしかりから「加夢加夢」という名で販売されています。これは、農薬や肥料に厳しい使用制限を設ける「YES! clean米」に認定された、まさに高品質な「ななつぼし」だけを出荷するオリジナル米です。

今年は9月中旬ごろから、各地で稲刈りがスタート。米の食味は一般的にデンプン中のアミロースとタンパク質の含量が低いほどおいしくなると言われていて、「今年は特にタンパク質の量が少なく、例年以上においしい新米が採れています」とはJA北いしかり厚

今年も食味も良好！ 石狩の新米を食べよう。

田支所営農販売課の盛重さん。

良好な気温と良質な水で育まれた石狩の米。その折り紙付きのおいしさを、ぜひ皆さんも味わってみてください。

石狩産米が購入できる場所

●JAいしかり安心米生産組合オリジナル米「加夢加夢」		
いしかり地物市場	☎ 樽川120-3	☎ 73-4500
JAいしかり本店	☎ 八幡2丁目33-11	☎ 66-3344
JAいしかり花畔セルフ給油所	☎ 花畔360-58	☎ 64-2119
●厚田産米(ななつぼし) ●浜益産米(ほしのゆめ)		
Aコープ厚田店	☎ 厚田区厚田6-1	☎ 78-2021

◎ 石狩随想

27

増田明美さんから聞いた石狩

◆「カゼラキル」全3巻がサイン入りで贈られてきた。明美さんの自叙伝とも言えるものだ。片田舎の元気で明るい女の子がオリンピックを目指すまでの成長を「明美的表現」で書いている。幾度か石狩の市民マラソンにゲストランナーとして参加をいただいた所似からだ ◆石狩灯台先のはまなすの丘を河口まで早朝ジョギングするのが楽しみのひとつと彼女は言う。朝靄あさもやにこれ以上単純化でき得ないほどゆつたりとつくりあげた砂嘴さし上の風景、そこに明美さんと重ねて小説の主人公・山根美岬の駆けつっこ姿が浮かんでくる ◆河口に立つ。その体験はあまりにも衝撃であり、名歌「ここからは海となりゆく石狩の河口に立てば、立てば天啓」と胸を打つ作品を歌いあげた俵万智さんのことを紹介すると、「すてきなお話ね、その歌教えて」と手渡されたプログラムの裏に走り書きをした。その後「きけばきく程いいですね。秋風にゆれるススキ、はまゆりの花(寒)のあの風景が目には浮かぶようです」とのお便り一通。しばらく訪れることもなかった河口に立つてみたくなった。大河の激しい流れが日本海と衝突する飽きることもない大自然の営みは、充電するに十分なエネルギーの誕生の地だから。

(市長)